

－ 歩行車 シャルム CW-02 －

取扱説明書

はじめに	1
製品仕様	2
各部名称	3
歩行車の使用方法	
組み立て方	4
折りたたみ方	4
グリップの高さ調節方法	5
ブレーキの使用方法	5
座面の使用方法	6
お手入れ方法・保管について	6
保守・点検	6

ご使用になる前に必ずお読みください。
読了後は大切に保管してください。

※製品は改良のため仕様の一部を予告なく変更する場合がございます。あらかじめご了承ください。



Care-Tec Japan

はじめに

この度はお買い求めいただき、誠にありがとうございます。

この取扱説明書では、正しく安全にお使いいただくために、必要な注意事項や正しい使い方が説明してあります。ご使用になる前に必ずお読みください。

※裏表紙に保証書が付いておりますので、紛失しないように大切に保管してください。

⊘ 警 告

取扱いを誤った場合、死亡または、重傷にいたる可能性が想定される場合を示しています。

■下記の場所では絶対に使用しないでください。

- ・バス、電車の中やエスカレータ。
- ・雨、雪、凍結などで滑りやすい所。
- ・悪路での使用。(石畳など車体に衝撃が加わりやすい場所)

○歩行のとき

■グリップ以外の場所を持って歩行しないでください。

■グリップを片手で操作しないでください。

■グリップに寄りかかったり、グリップやサポートベルトに荷物を吊り下げたりしないでください。
車体だけが動いたり、転倒することがあり危険です。

■ハンドブレーキを使用するときは、左右同時にかけてください。

■段差や溝などにつまづくと、転倒する恐れがありますので注意してください。また、段差に対して斜めに進入しないでください。段差の手前では必ず一旦止まり、十分注意して慎重に越えてください。

■ティッピングレバーの上に乘らないでください。

○座面使用のとき

■座面に座る際は、必ず駐車ブレーキをかけ、左右の後輪が固定されていることを確認してください。

■座面に座る際や立ち上がる際は、車体が動かないことを確認してからゆっくりと身体を動かしてください。

■座面に座る際や立ち上がる際に、グリップを支えとしてご使用する場合は、必ず両方のグリップを握ってください。
片方のみによりかかると、転倒する恐れがあります。

■最大使用者体重 100kg を必ず守ってください。

■勢いよく座らないください。車体に変形、破損することがあります。

■座面に座る際は、身体をまっすぐ前に向けて座ってください。座面に対して斜め、または横向きに座るとバランスを崩し転倒する恐れがあります。

■サポートベルトに体を預けないでください。

▲注 意

取扱いを誤った場合、傷害にいたる可能性または、物的損害の発生が想定される場合を示しています。

■組み立てる際は、周囲に人がいないことを確認してください。また指などをはさまないように注意してください。

■ご使用前は各部を点検し、フレームや各部に亀裂・破損・変形などがある場合は使用しないでください。

■各部を点検し、特にハンドブレーキと駐車ブレーキの使用時に左右の後輪が確実に固定されることを確認してください。

■ブレーキを解除したときには、後輪がスムーズに回転することを確認してください。

■ネジなどのゆるみがないこと、グリップが固定されていることを確認してください。

■サポートベルトは必ず取り付けてご使用ください。

■サポートベルトが正しい向きで取り付けられていることを確認してください。

■サポートベルトを持って、車体を持ち運びしないでください。

■持ち運びの際は、グリップを持ってください。

■タイヤ及びブレーキに摩耗が無いことを確認してください。

■ご使用の際は、必ずご使用者の体調を確認し、安全に使用できるかどうかを判断してください。体調によっては、転倒など思わぬ事故につながる恐れがあります。

■交通量の多い所や混雑している所で使用する場合、また夜間に使用する場合は十分に注意してください。

■左右のハンドル高さが同じであることを確認してください。

■ストッパーがしっかり止まり、グリップが確実に固定されていることを確認してください。

▲注 意

取扱いを誤った場合、傷害にいたる可能性または、物的損害の発生が想定される場合を示しています。

○歩行のとき

- ハンドブレーキを握った状態、および駐車ブレーキをかけた状態で歩行しないでください。
- 車体からはなれるときは必ず駐車ブレーキをかけてください。また、非常口・消火器・消火栓の前に放置しないでください。
- ブレーキは自動車のブレーキとは構造的に違いますので、過信しないでください。
- 坂道では駐車しないでください。坂道では、たとえ駐車ブレーキをかけても動く場合があります大変危険です。
- 踏切横断時は、踏切レールの際間に注意し、路線に対して直角に横断してください。
- 高い段差や階段は車体ごと持ちあげてください。無理に乗り越えると破損や事故の恐れがあります。
- 座面に人を乗せたまま押さないでください。
- グリップに勢いよく負荷をかけないでください。
- 最大使用者体重 100kg を必ず守ってください。
- 電車やバスの無理な乗り降りはしないでください。
- 揺れる車内は使用しないでください。また、電車やバスの車内では、車体から手をはなさないでください。
- ペットの散歩には使用しないでください。転倒など思わぬ事故につながる恐れがあります。

○座面使用のとき

- 坂道などの斜面では座らないでください。
- 浅く座らないでください。
- 踏み台として使用しないでください。
- 幼児、子供を座面上に立たせないでください。また操作させないでください。

○収納袋に関して

- 収納袋に 5kg 以上の重さの荷物を入れないでください。
- 収納袋に荷物を入れたままで折りたたまないでください。
- 収納袋の中に乳幼児を乗せないでください。
- 収納袋の中に貴重品を入れたまま車体からはなれないでください。
- 収納袋の中に鋭利な物を入れないでください。

※以上の警告・注意点以外であっても、無理な使用はお控えください。事故や破損の原因になります。

※製品は改良のため仕様の一部を予告なく変更する場合がございますので、お手元の歩行車と本書記載の歩行車とデザインなどが異なる場合があります。あらかじめご了承ください。

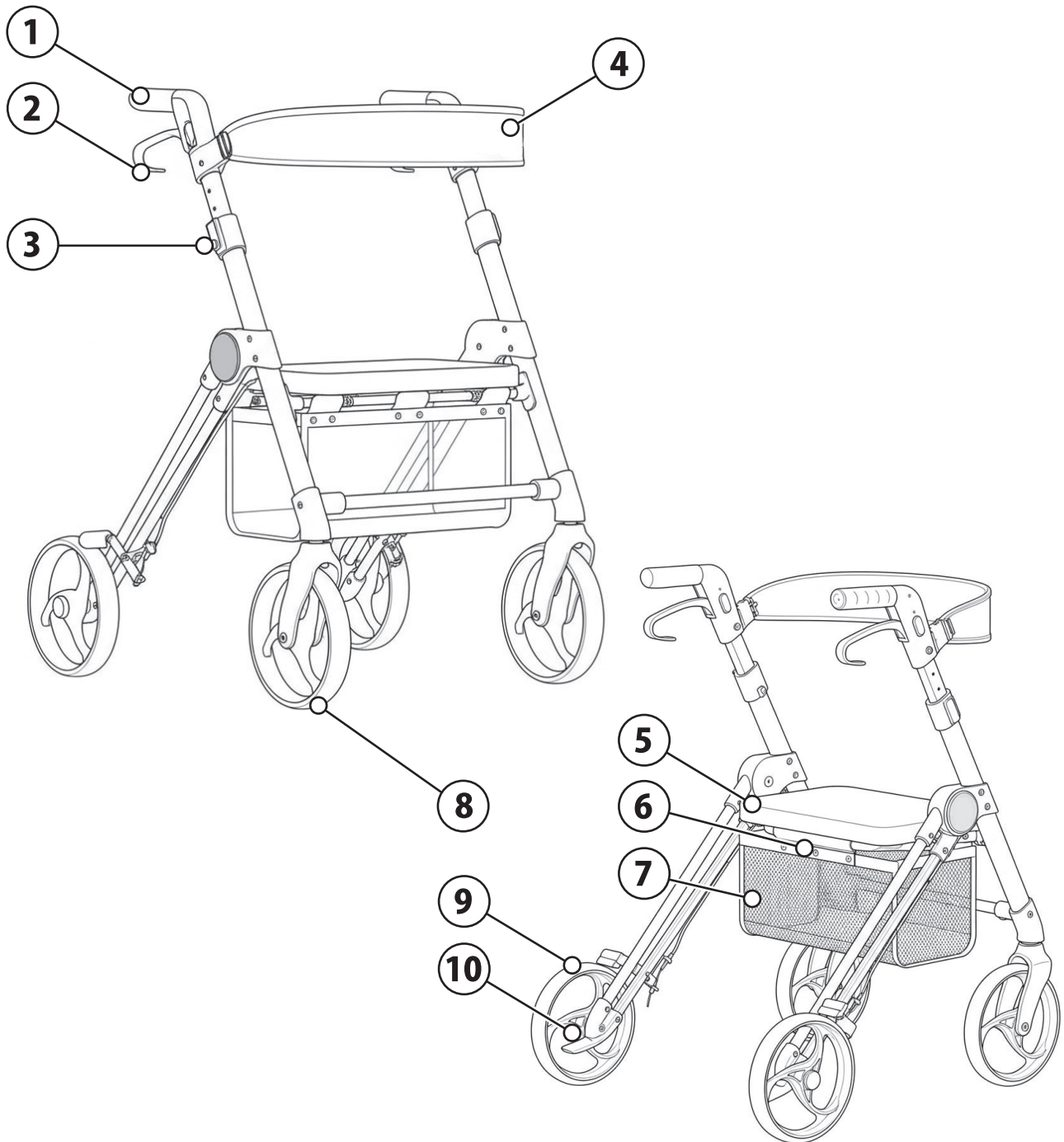
※廃棄する際は、お住いの各自治体の指示に従って、処分・破棄してください。

製品仕様

組み立て寸法 (cm)	全幅 約 58× 全長 約 65× 全高 約 80.5~90.5	重 量 (kg)	約 7.8
折りたたみ寸法 (cm)	全幅 約 58× 全長 約 30× 全高 約 97	最大使用者体重 (kg)	100
グリップ 高さ (cm)	約 80.5~90.5 (5 段階調節)	積 載 荷 重 (kg)	5
座 面 高 さ (cm)	約 46	主 材 料	フレーム：アルミ 座面 / 収納袋：ポリエステル
座 面 寸 法 (cm)	幅 約 37.5× 奥行 約 26		
収 納 袋 寸 法 (cm)	幅 約 36× 奥行 約 20× 高さ 約 15		

※各寸法、重量は参考数値です。

各部名称



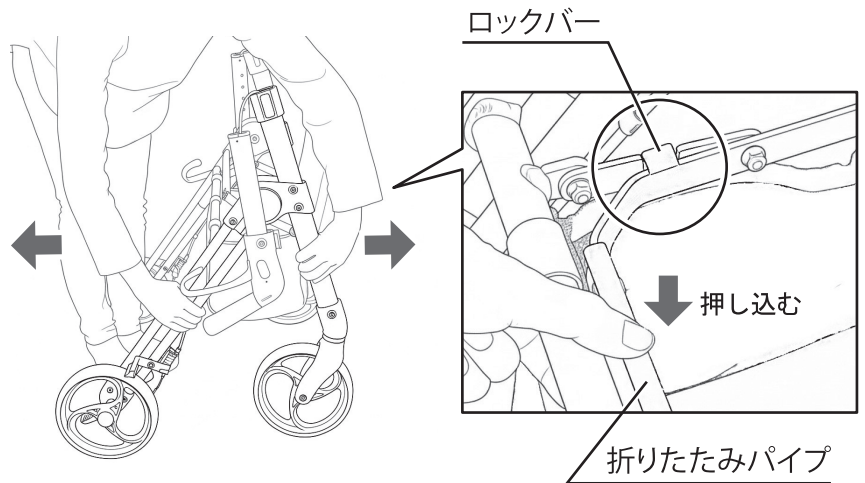
※製品は改良のため仕様の一部を予告なく変更する場合がございますので、お手元の製品と本書記載の製品とデザイン等が異なる場合があります。あらかじめご了承ください。

①	グリップ	使用者が歩行車を操作する際に握ります。
②	ハンドブレーキ	駐車や減速する際に操作します。
③	ストッパー	グリップの高さ調節の際に使用します。高さは5段階で調節できます。
④	サポートベルト	使用者の背部にある部品です。
⑤	座面	使用者が座る部品です。
⑥	折りたたみパイプ	折りたたみ時に使用するパイプです。座面下、収納袋部分にあります。
⑦	収納袋	荷物などを入れられます。
⑧	前輪	前方車輪です。自在に方向転換できます。
⑨	後輪	後方車輪です。
⑩	ティッピングレバー	段差を越える際、前輪上げをするときに踏むためのレバーです。

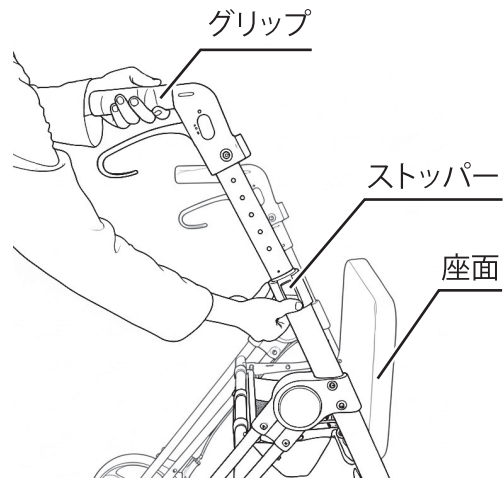
歩行車の使用方法

【組み立て方】

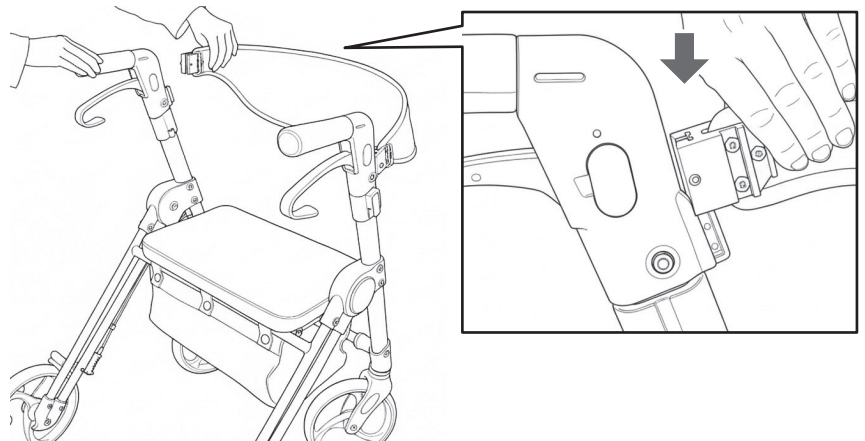
梱包箱を開封し、歩行車を取り出します。
本体フレームを前後に開き、車体を広げます。
収納袋部分にある折りたたみパイプを押し込み、ロックバーがきちんとはまっていることを確認してください。



左右グリップを本体左右フレームパイプの中にそれぞれ差し込みます。
ストッパーを押しながら差し込み、使用者に適した位置で固定します。
上がっている座面をおろします。

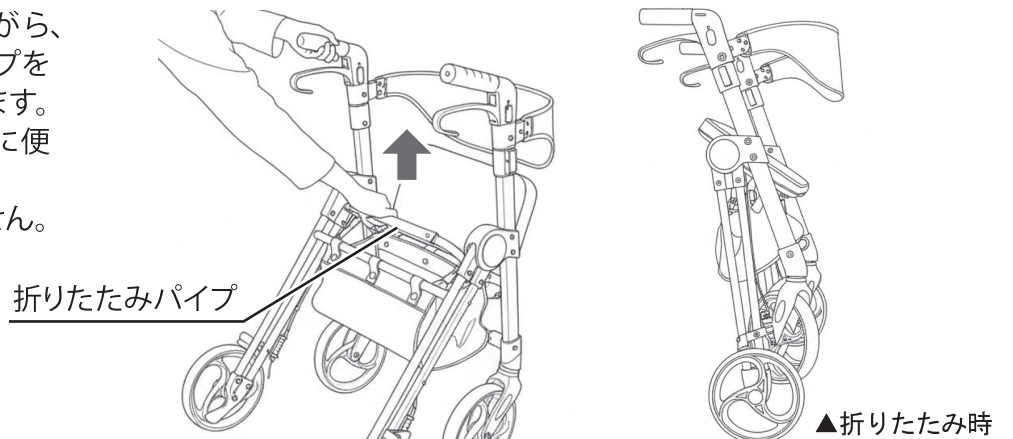


サポートベルトを本体に取り付けます。
サポートベルトの上下を確認して、溝部分を本体の凸部に合わせ、上からスライドさせて差し込み、固定します。



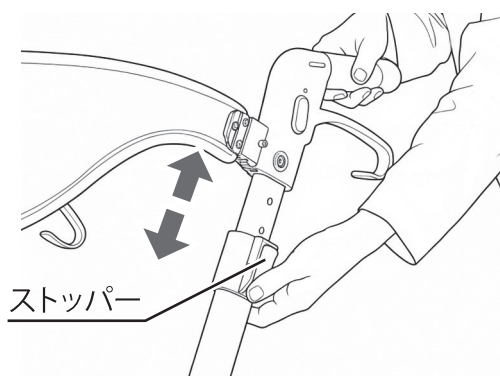
【折りたたみ方】

座面を上げ、グリップを持ちながら、収納袋部分にある折りたたみパイプを上へ引き上げると車体がたたまれます。
コンパクトになるので収納する際に便利です。
※折りたたんだ状態では自立しません。

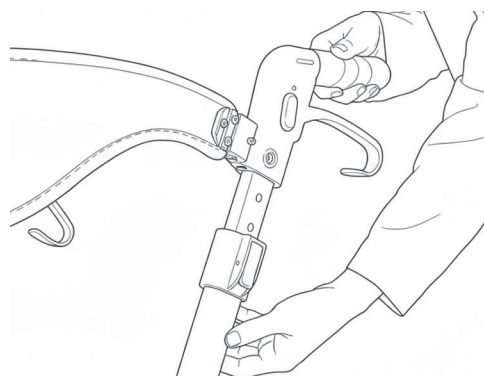


【グリップの高さ調節方法】

① ストッパーを押しながら、グリップを上下させ、お好みの高さでストッパーをはなしてください。



② 調節穴にストッパーがカチッとハマり、グリップが固定されていることを確認してください。高さは5段階で調節できます。



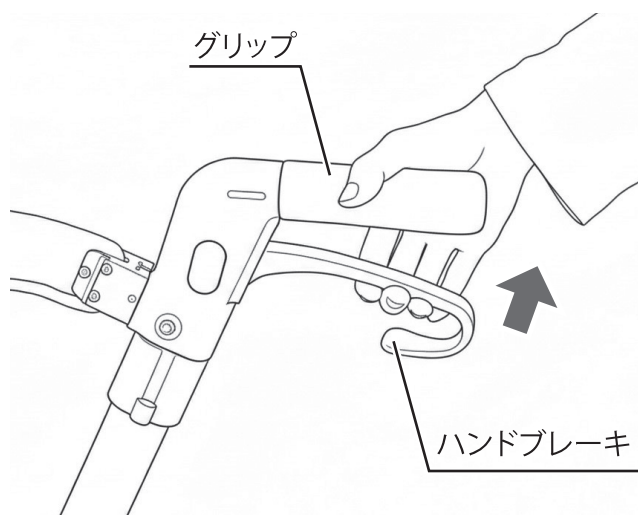
⚠ 注意

- 組み立て・折りたたみの際は周囲に人がいないことを確認してから行ってください。
- 指などをはさまないように注意してください。
- 折りたたみパイプを持って車体を開かないでください。指などをはさむ恐れがあります。
- サポートベルトは必ず取り付けてご使用ください。
- 確実に組み立てられていることを確認してから使用してください。
- グリップ以外の部分を握って操作しないでください。
- 片手での操作はしないでください。バランスを崩し危険です。
- 高さ調節の際、ストッパーがハマり、グリップが確実に固定されていることを確認してください。
- 高さ調節の際、勢いよくグリップを引き抜かないでください。
- 必ずグリップ高さの最高値以下で使用してください。
- 高さ調節の際、左右のハンドルパイプの目盛が同じであることを確認してください。

ブレーキの使用方法

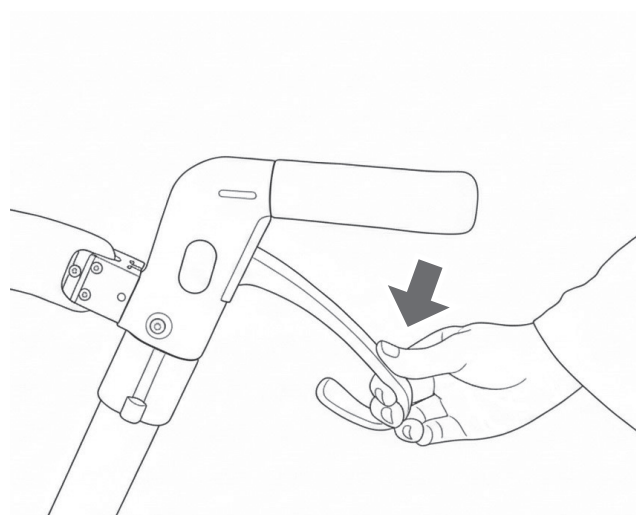
【ハンドブレーキの使用方法】

グリップを持ちながら、左右のハンドブレーキを同時に握ってください。



【駐車ブレーキの使用方法】

ハンドブレーキの先端を下げると、後輪が固定され駐車ブレーキがかかります。下げたハンドブレーキを上げると解除されます。



⚠ 注意

- 指などをはさまないように注意してください。

座面の使用方法



- ① 駐車ブレーキをかけ、左右の後輪が固定されていることを確認してください。
- ② 座面がおりにていることを確認してから、中央に座ってください。

⚠ 警告	■ 座面に座るとき、車体からはなれるときは、必ず駐車ブレーキをかけ、左右の後輪が固定されていることを確認してください。
⚠ 注意	■ 指などをはさまないように注意してください。 ■ 座面に座る際や立ち上がる際に、グリップを支えとしてご使用の場合は、必ず両方のグリップを握ってください。片方のみによりかかると、転倒する恐れがあります。 ■ 前方から座らないでください。転倒などの事故や故障の原因となる恐れがあります。

お手入れ方法・保管について

- ・ 雨などで濡れたときは、乾いた布で拭き取ってください。泥やほこりがついたときは、水につけた布を固くしぼって拭き取り、その後乾いた布で拭いてください。
- ・ 収納袋の汚れは、水につけた布を固くしぼって拭き取り、その後よく乾かしてください。
- ・ 研磨剤入りのスポンジを絶対に使用しないでください。
- ・ 塩素系洗剤・シンナー・クレゾールなどは絶対に使用しないでください。プラスチックの劣化や破損をまねくことがあります。
- ・ サポートベルト、座面、収納袋に関しては塩素系洗剤・シンナー・クレゾール、アルコール類などは絶対に使用しないでください。劣化や色落ちをまねくことがあります。汚れがひどいときは、中性洗剤を使って拭き取り、その後乾いた布でよく拭き取ってください。
- ・ 屋内で保管してください。また、長期間使用しないときは、汚れを落としてから保管してください。
- ・ 雨ざらしになる場所、また高温多湿な場所では保管しないでください。故障や変形の原因となります。
- ・ 車体を倒した状態で、車体フレームやサポートベルトの上に荷物を重ねないでください。故障の原因となります。

保守・点検

- ・ 歩行車を使用する前に各部の安全確認を行ってください。
- <装着品の確認> サポートベルト、座面、収納袋は装着されていますか。
- <ブレーキ> ブレーキの利きに左右差はありませんか。後輪はしっかりと止まりますか。
- <フレーム> スムーズに走りますか。
- 各部ボルトやナットが緩んでいませんか。部品などに破損はありませんか。
- 歩行車にバリ（割れや鋭利な突起）などはありませんか。
- グリップはしっかり固定されていますか。

保証基準

保証期間

ご購入日より1年間です。

ただし、消耗品等は保証の適用除外となります。

保証期間後

保証期間後はお買上げの販売店にご相談ください。

保証の適用除外となる場合

- (1) ご使用による消耗およびお取扱の不注意による破損
例) タイヤの摩耗、ワイヤー、座面、収納袋の破損等
- (2) 地震、台風、水害等の天災および事故、火災による焼失・破損
- (3) お取扱の不注意、操作未熟ならびに故意または過失等誤って使用された事による破損
- (4) 保全上の不備、また弊社および販売店以外で行った修理や改造等による破損
- (5) 弊社および販売店が指定する純正部品以外のパーツ等の使用により発生した破損
- (6) 一般に歩行車が走行しない場所、または特殊な状態での使用による破損
- (7) 製品本来の使用目的にそぐわない使用による故障および破損
- (8) 取扱説明書に従わずに使用して生じた故障および破損
- (9) 取扱説明書に禁じられている使用方法によって生じた故障
- (10) 日本国外でご使用の場合

ご注意

- (1) 保証書の再発行は致しませんので大切に保管してください。
- (2) 一度でも使用した商品は原則としてお取り替えはできません。

修理・お手入れ・お取扱い等のご相談は、
まずお買い求めの販売店へお申し付けください。